



美術部バスツアーのお知らせ（4月29日（日））



『バベルの塔』とロッテルダム探訪

ロッテルダムの代表的な美術館**ボイマンス・ヴァン・ベーニンゲン美術館**は中世美術から現代美術まで多数の作品を所蔵する人気の美術館で、アート好きなら是非一度は訪れたいところ。好機到来で、バスツアーを企画しました。東京・大阪で昨年開かれ、約66万人が訪れた「ボイマンス美術館所蔵ブリューゲル『バベルの塔』展 16世紀ネーデルラントの至宝 -ボスを超えて-」の**凱旋（がいせん）展「バベル 日本から帰ってきた名画」**の開幕を機に、会場での**ギャラリートーク**をハイライトとした、オランダ第二の都市のロッテルダムの発見の旅に出かけます。

日本でのユニークな展示の内容が評価され、母国でも紹介されることになった同展で、有名な『バベルの塔』を筆頭に15～16世紀のネーデルラントの絵画、版画、彫刻を鑑賞します。

見どころの多いロッテルダム。フリータイムも設けました。周辺の美術館や、「マース川のマンハッタン」の異名をとる同市が世界に誇る有名建築物ウォッチング、あるいは屋内食品マーケットを擁する注目のマルクトハル（マーケットホール）でのショッピングに足を延ばしてもいいでしょう



見逃せない11の理由

- ① **森耕治氏（ベルギー王立美術館公認解説者）によるギャラリートーク** 美術部のギャラリートークでおなじみの森氏は、近年は日本で講演会に出版にと大活躍。独創的で鋭い洞察に裏付けられた解説をお楽しみに！
- ② **巨匠ブリューゲルの傑作『バベルの塔』** 誰でも一度はどこかで目にしてはいるはず。ウィーンの名作との違いは？
- ③ 奇想の画家**ヒエロニスム・ボス**の2点。傑作**『放浪者』**と**『聖クリストフォロス』**、ボスの影響下で描かれた数々の奇妙なモンスターたちにも出会えます。
- ④ 「AKIRA」で国際的に知られる漫画家・映画監督の**大友克弘**が『バベルの塔』を大胆に新解釈した絵画作品**『インサイド・バベル』**も出展。
- ⑤ **ボイマンス・ヴァン・ベーニンゲン美術館コレクション** 中世から、レンブラント、ゴッホ、フランス・ハリス、ヤン・ステーンなどオランダ絵画、シュルレアリスト、マーク・ロスコなどの現代美術まで幅広く所蔵し、西洋美術史の変遷がたどれます。また、隣接するとその周辺には、多くの文化施設が集まっています。
- ⑥ 世界的に大人気の**草間彌生**の**『ミラールーム』**が同館に常設されています。
- ⑦ **マルクトハル** ユニークな建築。サッカー場の大きさ程の屋内フードマーケット。見るだけでも楽しい屋台がいっぱい。
- ⑧ **現代建築ウォッチング** ロッテルダム指折りのアイコン的な観光名所**キューブハウス**など、斬新な建築多数。
- ⑨ **クンストハル美術館** ミュージアム・パーク裏手。著名な建築家**レム・コールハース**による設計で現代建築のアイコン。Hyperrealism Sculpture 展や THE DARK SIDE OF DICK BRUNA (うさこちゃん=ミフィーの生みの親)展を開催中。
- ⑩ ロッテルダムのシンボル、港や街を一望できる**ユーロマスト**やオランダで最も有名な橋の1つ**エラスムス橋**も徒歩圏。
- ⑪ **クイズ** 往路の車中にて予習も兼ねた恒例のクイズをお楽しみに！ **（プログラムと申し込み要領：次ページ）**

2018年4月29日（日）プログラム（予定）

- 08:30 ブリュッセルのデルタ駐車場をバスにて出発
11:00 ギャラリートーク（半数）*
12:30 ランチ（美術館内レストランにて）
14:00 ギャラリートーク（半数）*
15:15～ フリータイム
17:15 美術館前から出発
19:30頃 ブリュッセル帰着予定

参加費： 大人 **47€** | 18歳以上の学生 **38€** | 18歳以下 **32€**（入場料・ランチ込み）

定員： 44名（参加者へは事前に詳細を記載した確認書をお送りします。）

* ギャラリートークのグループは、原則、申込み先着順に午前の部から振り分けます。

お申し込み方法

以下を記入の上、日本人会事務局まで原則 e-mail にて jimukyoku@nihonjinkai.be お申込みください。

件名：4月29日 美術部ロッテルダムバスツアー申し込み

ご氏名 + 登録会員企業名（個人会員はその旨明記）

ご同伴者名 + 登録会員企業名（家族の場合は続柄。また、お子様・学生は年齢を明記ください。）

日中連絡先電話番号（できれば携帯番号）

